

# 世界高配当株セレクト（目標払出し型） 年2回決算・為替ヘッジありコース

追加型投信／内外／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として投資信託証券への投資を通じてクロッキー高配当世界株指数（円ヘッジ・ベース）から得られる総合収益の獲得を目指して運用を行います。分配を通じて運用資産の一部を定期的に払い出します。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年5月28日～2019年11月25日

第14期	決算日：2019年11月25日	
第14期末 (2019年11月25日)	基準価額	13,338円
	純資産総額	434百万円
第14期	騰落率	10.7%
	分配金合計	251円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

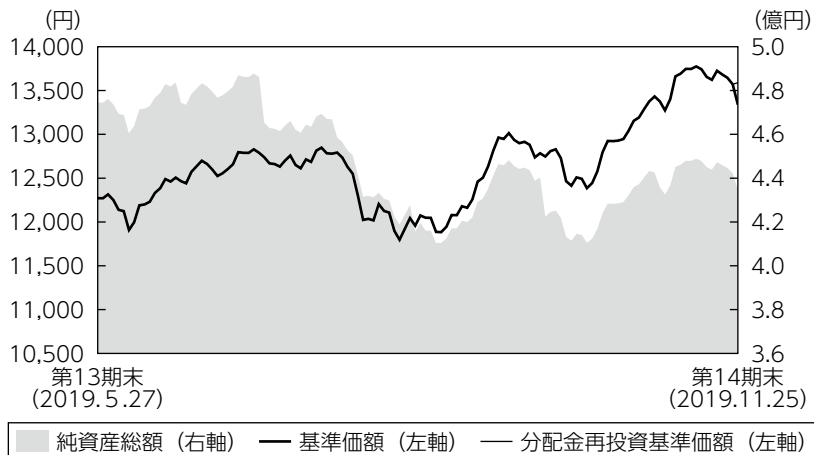
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第14期首： 12,272円  
 第14期末： 13,338円  
 (既払分配金251円)  
 騰落率： 10.7%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、ケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジ）－Bクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジあり）B」といいます。）と国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」（運用：いずれもアセットマネジメントOne株式会社）を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

エクイティファンド（ヘッジあり）Bは、運用にあたってドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当世界株指数のひとつである「高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）」に実質的に投資しました。

12,272円でスタートした基準価額は米中関係の悪化などを背景に2019年8月にかけて下落し8月19日には期中安値となる11,797円をつけました。その後、事前予想を上回る米国企業業績の発表などから反転上昇し11月13日には13,775円の期中高値を付け、13,589円で期末日を迎えました。（分配金込み）

当期間の基準価額は1,317円（分配金込み）の値上がりとなりましたが、その内訳はおおよそ表のとおりとなります。実質的な投資資産の価格変動（1,594円）が最大の値上がり要因となりました。

内 訳 (概 算)	当 期
A 実質的な投資資産の価格変動	1,594円
B 為替レートの変動	△119円
C 信託報酬等	△119円
D その他の要因	△38円
E 当期の純損益 (A + B + C + D)	1,317円
F 分配金	△251円
基準価額の騰落額 (E + F)	1,066円

- ・「A 実質的な投資資産の価格変動」は、当期中における高配当株戦略指数の構成銘柄の変動率を基に算出したものです。
  - ・「B 為替レートの変動」は、当ファンドが実質的な投資対象とする高配当株戦略指数の変動率から実質的な投資資産の変動率を差し引いた値を基に算出しております。
  - ・「C 信託報酬等」は、当ファンドで支払う信託報酬等および外国投資信託の信託報酬等が含まれます。
  - ・「D その他の要因」には、外国投資信託の売買執行タイミングで生ずる雑損益や売買コストなどが含まれます。
- ※上記の数値は「簡便法」により計算しておりますので、実際の数値とは異なります。したがって、あくまで騰落額の要因を知るための目安としてお考えください。各項目の数値は単位未満四捨五入しております。

## 1万口当たりの費用明細

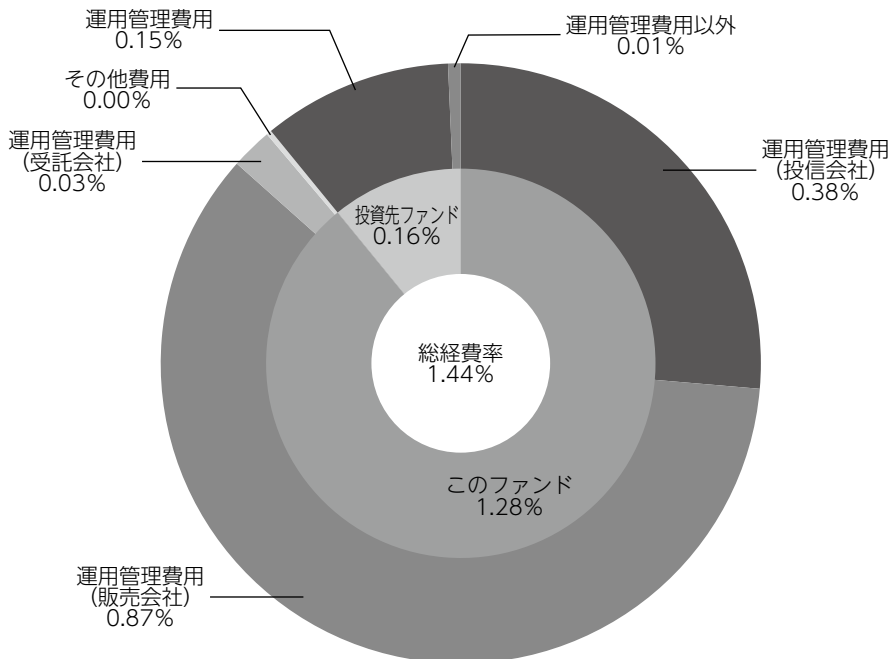
項目	第14期		項目の概要
	(2019年5月28日 ～2019年11月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	81円	0.637%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,671円です。
(投信会社)	(24)	(0.189)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(55)	(0.432)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	81	0.639	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

**(参考情報)**

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.44%です。



総経費率 (①+②+③)	1.44%
①このファンドの費用の比率	1.28%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

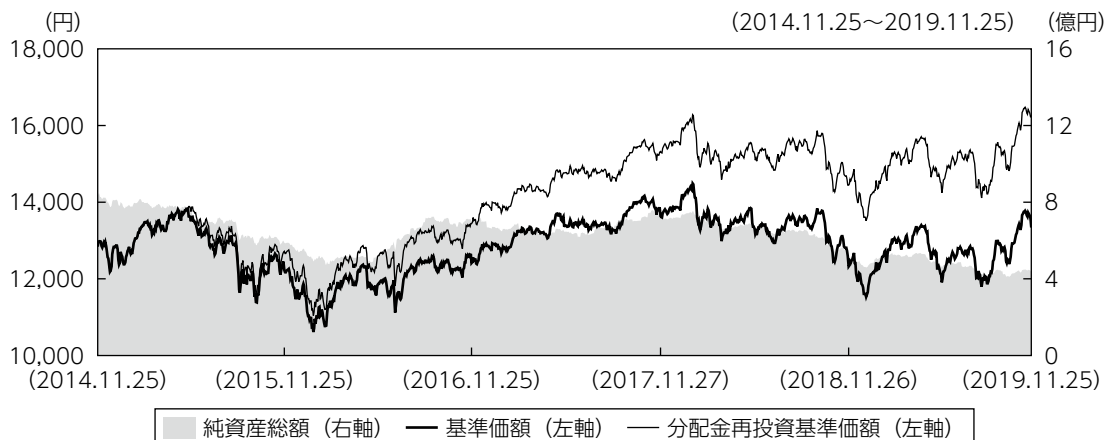
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年11月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年11月25日 期首	2015年11月25日 決算日	2016年11月25日 決算日	2017年11月27日 決算日	2018年11月26日 決算日	2019年11月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	12,844	12,226	12,410	13,637	12,323	13,338
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	514	488	500	550	502
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.0	5.7	14.0	△5.7	12.5
参考指数の騰落率 (%)	—	1.1	8.3	16.9	△4.1	15.5
純資産総額 (百万円)	829	588	699	731	506	434

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

## 投資環境

当期間の世界株式市場について、米国、欧州、日本とも上昇しました。

### ●米国株式市場

米国株式市場は、期初、F R B（米国連邦準備制度理事会）が金融緩和方向に舵を切ったことを好感し上昇基調でしたが、2019年7月の利下げ発表後に一旦材料出尽くしとなったことに加え、米中関係の悪化も懸念材料となり8月は下落しました。しかし、9月以降は米中交渉の進展報道や7-9月期の米国企業決算が総じて良好と評価されたことなどから大きく上昇しました。S & P 500など、主要な株価指数は史上最高値を更新しました。

### ●欧州株式市場

欧州株式市場は、期初、経済指標の上振れや商品市況の上昇などから堅調で始まりましたが、2019年8月に米中関係の悪化などから下落しました。その後、E C B（欧州中央銀行）の金融緩和期待、ドイツ政府による財政出動期待、英国の合意なきE U（欧州連合）離脱の当面回避決定といった支援材料から持ち直し、高値圏で期末を迎えました。

### ●日本株式市場

日本においては、期初、米国の利下げ観測からくる円高懸念などからもみ合いでしたが、2019年8月に米中関係の悪化などから下落しました。その後、欧米株式市場の好調に加え、円安の進行もあり堅調となりました。10月に実施された消費税増税の影響は限定的でした。

### ●外国為替市場

外国為替市場では、円が米ドルやユーロに対して上昇する展開となりました。米ドル円は109円台後半から始まり108円台半ばの米ドル安円高、ユーロ円は122円台前半から始まり120円台前半のユーロ安円高で期末を迎えました。

米ドル円は横ばい圏での推移でしたが、米中関係の悪化が顕著となった2019年8月にリスク回避姿勢の強まりから米ドル安円高となりました。その後、米中对立緩和期待、英国や香港の政情不安一服感などから、米ドルは値戻し局面を迎えました。

また、ユーロ円については世界景気の減速懸念や、E C Bの金融緩和期待などを背景にユーロ安円高でしたが、2019年10月以降、英国のE U離脱をめぐる不透明感後退などから、ユーロは値戻し局面を迎えました。

### ●国内短期金融市場

期中の国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日本銀行が緩和的な金融政策を継続したことなどからマイナス水準で推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

当期間を通じてエクイティファンド（ヘッジあり）Bを主として高位に組み入れました。

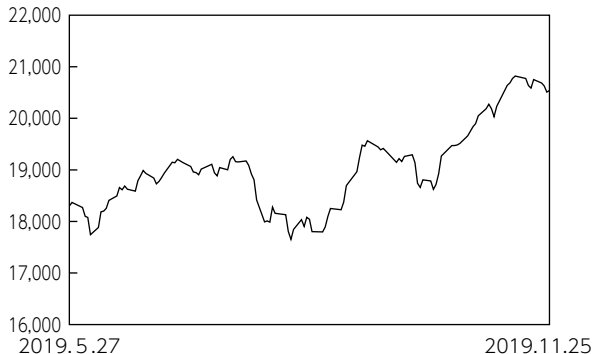
### ●エクイティファンド（ヘッジあり）B

主として担保付スワップ取引への投資を通じて、高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）から得られる総合収益の獲得を目指して運用を行いました。

### ●国内マネー・マザーファンド

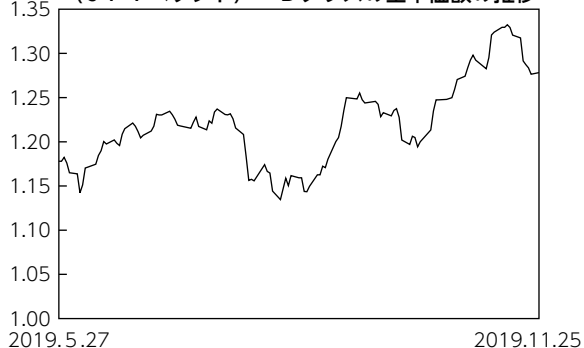
主として円建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指し、短期公社債を中心に投資を行いました。

高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）の推移



※高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

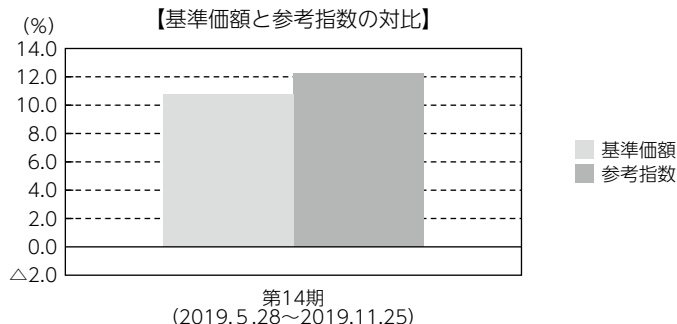
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド  
（JPYヘッジド）- Bクラスの基準価額の推移



※基準価額（分配落ち後）は1口当たりです。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

収益分配金は、年1回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第14期は1万口当たり251円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年5月28日 ～2019年11月25日
当期分配金（税引前）	251円
対基準価額比率	1.85%
当期の収益	251円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,132円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

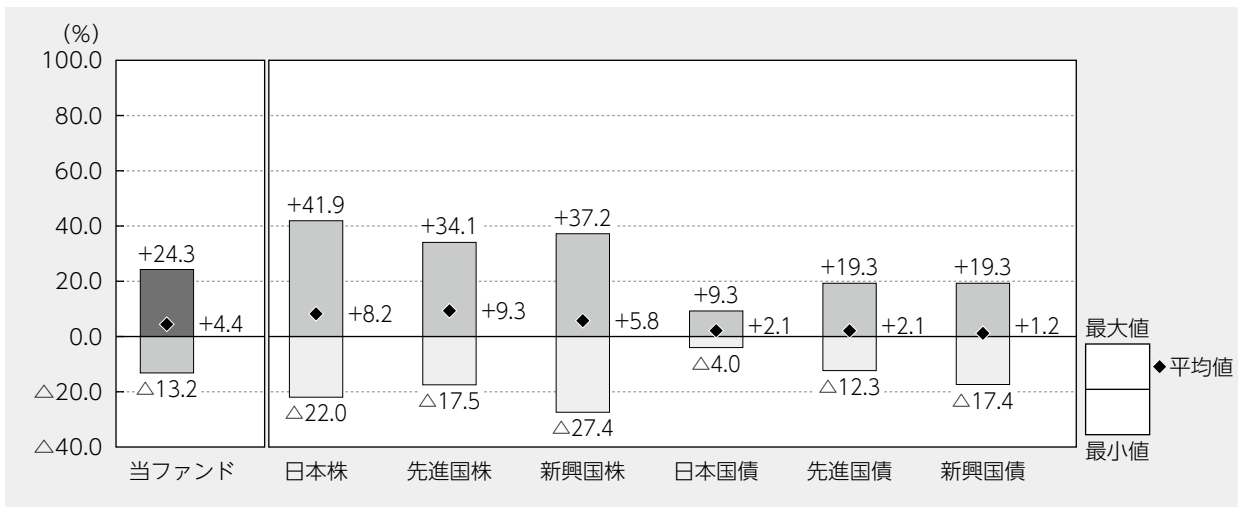
- 当ファンド  
引き続きエクイティファンド（ヘッジあり）Bを中心に組入れを高位に維持し、収益の獲得を目指します。
- エクイティファンド（ヘッジあり）B  
引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）から得られる総合収益の獲得を目指します。
- 国内マネー・マザーファンド  
引き続き短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2012年12月17日から2022年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当世界株指数（以下「高配当株戦略指数」といいます。）から得られる総合収益の獲得、および年2回の分配実施（実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。）による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト （目標払出し型）年2回決算・ 為替ヘッジありコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・ エクイティ・ファンド （JPYヘッジド）-Bクラス	スワップ取引
	国内マネー・マザーファンド	本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）-Bクラス（以下「エクイティファンド（ヘッジあり）B」といいます。）円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド（ヘッジあり）Bにおける高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるエクイティファンド（ヘッジあり）Bの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド（ヘッジあり）Bの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年11月～2019年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2019年11月25日現在)

#### ◆組入ファンド等

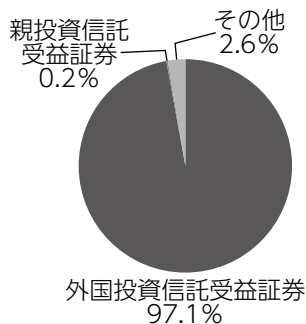
(組入ファンド数：2ファンド)

	当期末
	2019年11月25日
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Bクラス	97.1%
国内マネー・マザーファンド	0.2
その他	2.7

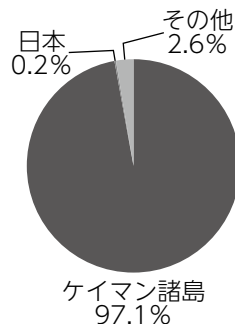
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

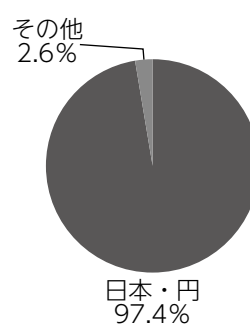
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分につきましては発行国 (地域) で表示しております。

### 純資産等

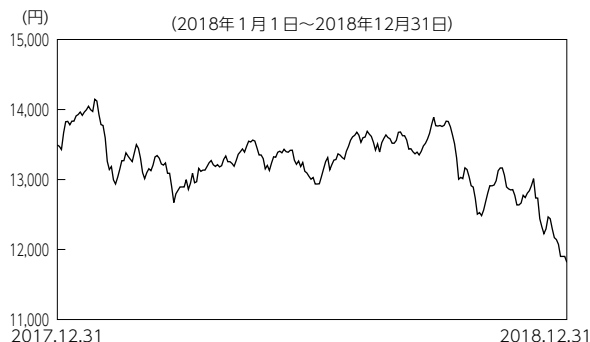
項目	当期末
	2019年11月25日
純資産総額	434,658,899円
受益権総口数	325,879,309口
1万口当たり基準価額	13,338円

(注) 当期中における追加設定元本額は419,832円、同解約元本額は61,200,641円です。

## 組入ファンドの概要

### [シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Bクラス]

#### ◆基準価額の推移



#### ◆1万口当たりの費用明細

(2018年1月1日～2018年12月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

#### ◆組入上位10銘柄

(2018年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	担保付スワップ投資	－	円	ドイツ	99.0%
2	－	－	－	－	－
3	－	－	－	－	－
4	－	－	－	－	－
5	－	－	－	－	－
6	－	－	－	－	－
7	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		1銘柄			

(注1) 比率は、シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）の純資産総額に対する評価額の割合です。

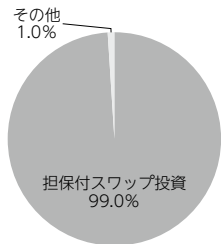
(注2) 上記の表は、ミズホ・バンク（USA）の監査財務書類等をもとに記載してあります。

(注3) 「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Bクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）」の個別クラスとなっております。

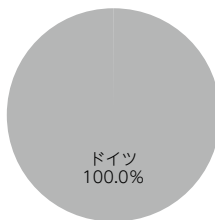
(注4) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注5) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

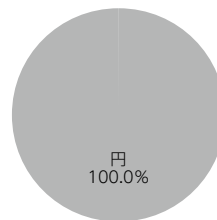
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(注5) その他は、シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）の純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

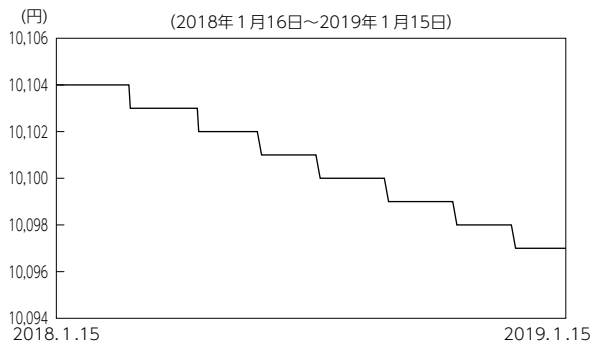
(注6) 「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Bクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）」の個別クラスとなっております。

(注7) 原則として対円で実質的に為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

(注8) 上記のグラフは、ミスホ・バンク（USA）の監査財務書類等をもとに記載してあります。

**【国内マネー・マザーファンド】**

◆基準価額の推移



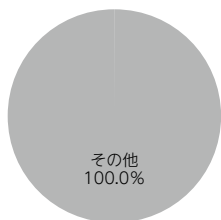
◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。 (2018年1月16日～2019年1月15日)

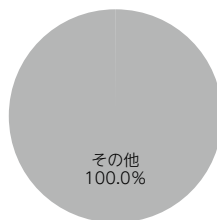
◆組入上位10銘柄

2019年1月15日現在、有価証券等の残高はございません。

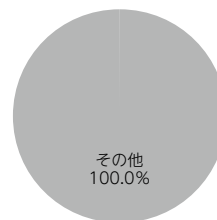
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

## <当ファンドの参考指数について>

### ●高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース)

高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

高配当株戦略指数はドイツ銀行グループが開発した『クロッキーモデル』を活用して選定された銘柄の中から、「大型株」「高配当」「上昇余力」に着目し抽出された銘柄で構成された指数です。

円ヘッジ・ベースとは、現地通貨建ての指数に対して、対円の為替ヘッジを考慮して算出した指数です。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE 世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

